

胃の難症何でも来い 世界的腹中カメラ完成

医学・光学 来月学界に発表 四人の協力

胃がんや胃カメラなどの難症の治療に、胃の内部から撮影可能な腹中カメラ「ペルカ」の完成が期待される。この腹中カメラは、日本人の胃がんの手術を成功させるのに役立つ。四国は徳島大学で、日本人の胃がんの手術を成功させるのに役立つ。四国は徳島大学で、日本人の胃がんの手術を成功させるのに役立つ。

腹中カメラの構造は、主に二五センチメートルの長さで、太さが二センチメートル。その先端には、カメラのレンズが取り付けられている。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。

明なものであり、また、その先端には、カメラのレンズが取り付けられている。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。

このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。

このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。

このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。

このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。



徳島大学は、このカメラの完成を、胃がんの手術を成功させるのに役立つ。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。このカメラは、胃の内部から撮影可能な。